

I. 東日本大震災の津波被害について

問1 津波による浸水被害の状況について、ご回答ください。

当てはまるもの1つに○をつけて下さい。

※判定基準は下記の「建物損壊状況判定基準」を参照して下さい。

※建物が複数ある場合は、主な建物についてお答えください。

1. 全壊（流失）
2. 全壊（撤去）
3. 全壊（条件付き再生可）
4. 大規模半壊
5. 半壊（床上浸水）
6. 一部損壊（床下浸水）
7. 特に津波による被害は無かった。 ⇒ 本アンケートの対象外となります。
(以降、質問はございません)

表 建物損壊状況判定基準

区分	被害内容	写真
<u>1. 全壊（流失）</u>	・基礎だけ残して建物が完全に流失。	
<u>2. 全壊（撤去）</u>	・2階の床以上まで浸水。 ・主要な柱が曲がっている。 ・建て直した方が早い状況。	
<u>3. 全壊</u> (条件付き再生可)	・概ね1階天井まで浸水。 ・壁は損傷しているが、柱や梁などの残存部分は健全で再利用可能。	
<u>4. 大規模半壊</u>	・床から概ね1m以上（天井未満）浸水している状況。 ・壁の一部は損傷しているが、建物の躯体は健全で、大規模補修で再利用可能。	
<u>5. 半壊</u> (床上浸水)	・床から概ね1m未満の床上浸水。 一部補修により再利用可能。	
<u>6. 一部損壊</u> (床下浸水)	・軽微な補修、または、床下の泥の除去等で再利用が可能。	-

※浸水深はあくまでも目安です。

低い浸水深であっても激しく損壊している場合は、それを基準に判断してください。

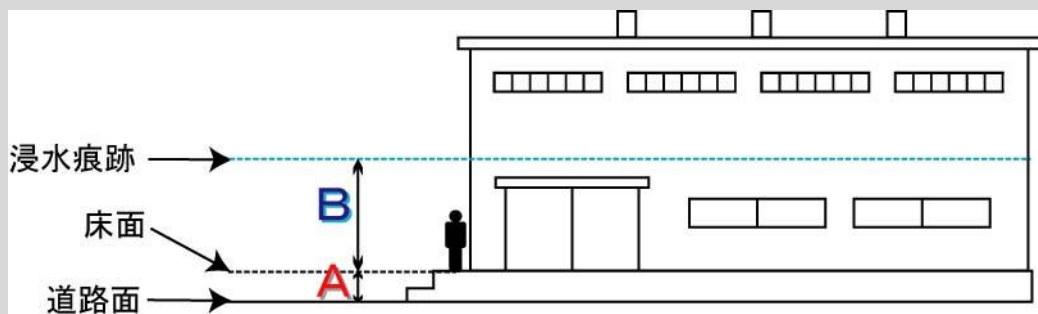


図 浸水状況説明図

問2 床上以上の浸水被害を受けた方にお聞きします。

上図「浸水状況説明図」の、**A**で示す道路面から床面までの高さは何 cm くらいですか？

約 _____ c m

上図「浸水状況説明図」の、**B**で示す床面から浸水面までの高さは何 cm くらいでしたか？

建屋 _____ 階の床面から、約 _____ c m

津波が引いた後、土砂やガレキ等が建屋内に堆積していましたか？

1. 堆積していた。

2. 堆積していなかった。

↓
堆積した土砂やガレキの高さは最大何 cm くらいでしたか？

【土 砂】： 建屋 _____ 階の床面から、約 _____ c m

【がれき】： 主な種類 _____

建屋 _____ 階の床面から、約 _____ c m

Ⅱ. 津波被害の金額・労力について

問3 棚卸資産の被害額について、下記の各問にご回答ください。

(1) 震災前の製品又は商品在庫は総額いくらくらいお持ちでしたか？

その被害割合は何%でしたか？

震災前保有の製品・商品在庫 約 _____ 万円

※震災前に保有していた製品又は商品在庫が通常通り出荷・販売できた時の金額

上記の内、被災した割合 約 _____ %

※直接被災していなくても、何らかの理由で出荷できなくなった場合も含みます。

(2) 震災前の原材料・貯蔵品は総額いくらくらいお持ちでしたか？

その被害割合は何%でしたか？

震災前保有の原材料・貯蔵品 約 _____ 万円

※震災前に保有していた原材料・貯蔵品の調達価格でお答えください。

上記の内、被災した割合 約 _____ %

※直接被災していなくても、何らかの理由で使えなくなった場合も含みます。

(3) 震災前の仕掛品(未完成製品・未完成工事)は総額いくらくらいお持ちでしたか？

その被害割合は何%でしたか？

震災前保有の未完成製品・工事 約 _____ 万円

※震災前の仕掛品の作成にかかった費用をお答えください。

上記の内、被災した割合 約 _____ %

※直接被災していなくても、何らかの理由で使えなくなった場合も含みます。

(4) 被災して消失した、現金・預金はいくらくらいですか？

※現金，小切手，定期預金，金銭信託等のうち，再発行できず失われたもの。

約 _____ 万円

(5) 震災により回収できなくなってしまった売掛金はいくらくらいですか？

※売掛金：納品したが、請求書がなくなった等のため、顧客からの支払いが滞っている金額

約 _____ 万円

問4 次に、震災後の一時的に発生した費用と人手について、下記の各間にご回答ください。

(1) 貴事業所の清掃・がれき処理にはどのくらいの労力がかかりましたか？

※人日：労力を表す単位。1人が1日労働すると1人日、4人が2日労働すると8人日です。

※貴事業所以外の人手：他支社やグループ企業、取引企業、ボランティア等の人手を指します。

貴事業所以外の人手：約 _____ 人日

専門業者への外注費：約 _____ 万円

(2) 震災直後、以下にあげるような特別な支出はありましたか？

当てはまるものすべてに○をして下さい。

1. 通常発生しない交通費
2. 従業員の宿泊費（自宅被災または出張先から帰宅できない等の理由）
3. 残業代（復旧に向けた活動のための貴事業所職員の残業代）
4. 生活支援費（従業員の飲食料品・衣料支給など）
5. その他 _____



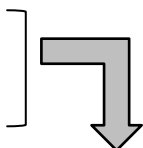
上記の金額を合計するといくらくらいになりますか？

約 _____ 万円

(3) 被災により、一時的に別の場所で仮操業・営業等を行いましたか？

※完全に操業・営業場所を移転した場合（元の場所に戻らない予定の場合）は「3.」を選択

1. 別の場所で仮操業・営業した→現在は震災前の場所で操業
2. 別の場所で仮操業・営業した→現在も震災前の場所には戻れていない



仮設事務所・工場の設立費用はいくらでしたか？

約 _____ 万円

3. 別の場所では、仮操業・営業していない

(4) その他、操業・営業再開の初期に、業務執行に支障が出た（または、何かを我慢して業務を再開した）ことはありましたか？ ご自由にお書きください。

例) 自動車が被災（または燃料不足）し、自転車で客先まわりを行い、終わるまでに期間を要した。

例) 空調設備（エアコン等）の買替・修理に期間を要し、その間、職員は我慢して業務を遂行した。

問5 現在までに支出した復旧費用について、下記にご回答ください。

(1) 土地や建物の復旧費用として、今までに支出した費用の総額はいくらくらいですか？

約 _____ 万円

(2) 生産用機械や設備、または事務所用設備等の修理・買換えにかかった費用の総額はいくらくらいですか？

※設備等：製造機器、レジ、クーラー、営業車、OA機器など

約 _____ 万円

(3) 現時点までの復旧投資により、生産設備・事務所環境は何%程度に戻りましたか？

現時点で 約 _____ % (震災前を 100% としたとき)

(4) 現時点で、売上・生産量は何%程度に戻りましたか？

現時点で 約 _____ % (震災前を 100% としたとき)

(5) 震災前および現時点の営業利益に変化はありましたか？

※【営業利益】＝【売上】－【売上原価(原材料費、人件費等)】－【販売費及び一般管理費】

※ご記入いただいた数字は統計的に処理します。個別の企業情報を外部に出すことはありません。

震災前 営業利益 _____ 万円

現時点 営業利益 _____ 万円

(赤字の場合は、マイナス表記してください)

(5) 上記の(3),(4),(5)でお答えいただいた数字のギャップが生じた理由として、あてはまるものすべてに丸をつけてください。

※ギャップの意味：設備は復旧できたが売上は震災前に戻らない、または、設備は戻っていないが売上が増加している、など。

1. 資金制約により、十分な設備復旧ができず、生産性が低下した。
2. 周辺地域の人口が減少したため。
3. 販売先が被災したため、顧客が減少した。
4. 原材料の入荷先が被災し、調達ができない、もしくは調達コストが増加した。
5. 復旧需要により、売上(利益)が増加した。
6. その他 _____

Ⅲ. 操業・営業再開の状況について

問6 震災直後、全く操業・営業ができない時期はありましたか？

1. 操業・営業ができない時期があった

2. 震災直後から操業・営業できた



いつごろ操業・営業を再開できましたか？

操業・営業再開時期_____年_____月頃

問7 震災前と現在の社員数について、教えてください。

※役員(常勤、非常勤)、正規職員、非正規職員(派遣、パート、アルバイト)の総数

震災前(平成22年1～12月の平均的な人数): _____人

現在(最新的人数): _____人

Ⅳ. ご担当者様のご連絡先

ご回答いただいた内容に対して、後日電話等で確認をとらせていただく場合がございます。
下欄に、ご担当者様のご連絡先をご記入ください。

項目	回答欄
会社・事業所名	
部署名	
ご担当者氏名	
ご連絡先	電話番号 : _____ F A X : _____ メール : _____

アンケートは以上です。ご回答誠にありがとうございました。